

“ノロウイルス”による食中毒に注意しましょう！

ノロウイルスによる食中毒は12月から1月に最も多く発生する傾向があり、非常に感染力が強いのが特徴です。このウイルスは、乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層に感染性胃腸炎（主な症状は嘔吐、下痢、発熱）を起こします。

感染を広げないために食事や調理の前、トイレの後などは必ず手を洗いましょう。また加熱処理は、ウイルスの活性を失わせるための有効な手段です。特にカキなどの二枚貝は生食を避け、中心温度85～90℃で90秒以上かけて火を通してから食べるようにしましょう。

～ノロウイルスによる食中毒予防のポイント～

- 調理する人の健康管理
 - ・普段から食べものや家族の健康状態に注意する。
 - ・症状がある時は、食品を直接取り扱う作業をしない。
- 調理前などの手洗い
 - ・汚れの残りやすいところを丁寧に。
- 調理器具の消毒
 - ・洗剤などで十分に洗浄し、熱湯で加熱する方法またはこれと同等の効果を有する方法で消毒する。

詳しくは下記のURLをご覧ください。

厚生労働省「ノロウイルスに関するQ&A」

<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>



風しん抗体検査・予防接種はお済みですか (予防接種を含めて、令和4年3月31日までです。)

令和元年度より国の追加的対策として3年間に限り、昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性に風しん抗体検査・第5期定期予防接種を無料で実施していますが、今年度が最終年度です。

3年間の内、検査を受けることができるのは、1回のみです。そして、その結果、十分な抗体がない方が、予防接種を受けることができます。

クーポン券を無くされた方・転入にてクーポン券の差し替えが必要な方は、保健センターへお問い合わせください。

*医療機関に予約の電話をしてから、ご受診ください。



HPVワクチンについて

ヒトパピローマウイルス（HPV）は、女性の多くが生涯で一度は感染するとされている一般的なウイルスです。HPVに感染しても、ほとんどの人は自然に消えますが、一部の人で子宮頸がん等の原因になることがあります。

HPVワクチンは、小学校6年生～高校1年生の女性であれば公費で接種することができます（一部自己負担金があります）が、接種後に出現する広範な疼痛、運動障害等の重篤な症状・副反応が報告されているため、積極的な勧奨を一時的に控えています。一方、HPVワクチンを接種することで、ヒトパピローマウイルスへの感染を防ぎ、子宮頸がんを予防できると期待されています。情報をご確認いただいた上で、接種をご希望される方は、保健センターまでご相談ください。

詳しくは下記のURLをご覧ください。

厚生労働省「ヒトパピローマウイルス感染症～子宮頸がん（子宮けいがん）とHPVワクチン～」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou28/index.html>



☎ 保健センター ☎64-3775

母子健康手帳発行日

<12月の発行日> 1日（水）・8日（水）・15日（水）・22日（水）

*電話にてご予約ください。

☎ 子育て世代包括支援センター
(保健センター内) ☎64-3775